

平成26年度 第3回道徳授業研究会

7月17日(木) 4年1組(平工宣代教諭)

〈主題名 本当の友だちについて考えよう 2-(3) 友情〉



今の主人公の気持ちは、緑が多い
と思います



ぼくはこうだと思います



熱心にグループで話合い



電車に乗っている感じで役割演技

〈課題〉

①指導案を改めて見直す。

→「ねらいとする道徳的価値」については、学習指導要領解説を参考にしっかり書けているが、さらに授業者の思いや願いを加えるとよい。

→「児童の実態」については、実態に加えて「こんな児童になってほしい」というめざす児童像を加えるとよい。

→「授業の工夫」と「見える化」について記述内容を整理すると良い。特に「見える化」のポイントを明確に示すとよい。

②役割演技のより効果的な活用を工夫する

→役割演技の後、切り返しや揺さぶりをを行い、価値に迫らせていきたい。

③心の窓の活用をさらに工夫する。

→児童同士でお互いに聞き合いができていたことはすばらしい。さらに、周囲の児童へ広げて聞いてみることもよい。

※研究について

①研究テーマにいかに関われるかが大切である。地域と連携した取組をさらに

充実させたい。

→地域の行事での児童の活躍、学校だよりや学年だよりを地域に回覧

②保護者や地域を巻き込んだ授業にしていく。

→教育週間に保護者参加型の授業、ゲストティーとして授業で講話

③指導計画の他に他の教育活動との関連を明確にしていくことが必要である。

→体験マップの作成

④「私たちの道徳」を活用したい。

→家庭で保護者と一緒に読む機会をつくる。

⑤アンケートの調査結果を生かしていきたい。

→三尻小の弱い点を洗い出し、来年度の重点項目に反映する。

→保護者の意見をもとに指導計画を見直し、保護者の願いを取り入れたものにしていく。

⑥児童の変容を掲示等で「見える化」していく。

→学年の掲示を工夫する。